

家具の固定方法 ②

壁の固定はL型金物で

固定のための金具にはL型金物と木ネジを用い、L型金物を壁の棧に対して直角に家具の上部に置き、木ネジをとめます。

壁への固定はL型金物で

家具を置きたい位置の壁のなかに、しっかりとした棧を見つめることができたら、いよいよ金具の取り付けにかかります。

「壁の棧と家具の棧をL型金物でとめるのね」

ただし、木ネジは壁の棧に届かないと効果がないので、ボードの厚みを考慮する必要があります。しかも、家具の上部ならどこでも良いというわけではなく、図①のように、両端部分の、しかも家具自体の棧が確実に入っている位置に金具を取り付けましょう。家具の棧が入っていない位置では、金具を取り付けても確かな効果は得られません。また、一般的に壁の縦棧は30cm

あるいは45cmの間隔で入っていますから、家具の幅や置きたい場所によってはうまく合わない場合があります。

そこで、家具の位置を自由に決められるよう、家具の高さに合わせて、横木を壁の棧に取り付けます。その横木に、L型金物で家具を固定するわけです。

積み重ね家具は上下を連結

上下に積み重ねて使う家具は、最上部だけを壁の棧に固定しても重ねた部分が地震で揺れるとずれてしまい、前にせり出して転倒する危険があります。

めんどうでも、図③のように家具の側面などで上下を連結したうえで最上部を壁の棧に固定するか、上下の家具それぞれを壁の棧に固定すれば確実です。

やむを得ない場合は天井で家具を支える

ところで、壁のなかに棧が入っていないために、家具を固定できない壁があります。この場合は、設計図などで天井の強度を確認のうえ、家具を天井で支える方法が考えられます。

たとえば、高さ調整式の上置型すき間埋め収納ユニット。これは、

① 棧に直接固定する方法

